

市民活動団体

活動紹介

「いきいき健康フェスティバル in 八尾」10月5日(土)

主催は、いきいき健康フェスティバル in 八尾実行委員会。八尾市立総合体育館にて、様々な団体のパフォーマンスが披露された。健康を目的に活動する団体や子ども達の発表の場になった。世代を問わずみなさんが、いきいきした表情でパフォーマンスしている姿に、来場者も元気ももらえた様子であった。



▲3日体操のパフォーマンス。人数が多かったため迫力があり、皆さんがいきいきとした表情だった。

「撮影会と歴史散歩」10月5日(土)

主催は、写楽のつどい。恩智周辺を歩き、普段あまり気がつかない、とても歴史あるものが多い、まちだった。今回は「環境アニメイティッドやお 八尾ふるさと歴史楽校」の坂上弘子さんのご協力で、随所で歴史の解説もありました。とても勉強になりました。



▲参加者は10名。初参加の方もおられ、皆さん写真を撮り、歴史にも触れ終始笑顔。撮影でのフोटセラピーによる健康と歴史を織り交ぜた初企画となった。

「第7回 ボランティア活動展」10月10日(木)

八尾市役所本館 1階市民ロビーにて、八尾市ボランティア連絡会等3団体による主催。福祉活動に取り組む32団体の展示があり、視覚障がい者の方たちに点訳による情報提供を行う団体や、子ども達に自然環境で遊ぶ場を提供する団体など多彩であった。活動展を機会にボランティアに興味を持つ方が増えればと感じた。



▲体験コーナーでは、実際に手話を教わる事ができ、来場者も教わっていた。

「シニアと共に踊ろう基本河内音頭」10月16日(水)

プリズムホール練習室にて開催。主催は、河内銀友会。講師は櫓流 櫓美千鼓(やぐら みちこ)氏。河内音頭の原点を提供し、50年変わらぬ河内音頭の基本である「手踊り」と「豆かち踊り」を、四拍子の音頭のリズムによって、実際に盆踊りのように輪になって踊った。



▲写真は櫓流宗家の櫓大悟師匠の生の河内音頭を堪能。参加者から「やっつと踊れるようになった!」という声を聴くのが主催者としてうれしいとのこと。また休憩時の自己紹介と近況報告を通じての、人とのふれあいを大事にしていた。

(取材:つどいスタッフ 大高美和(10/16取材分は除く))



大依 和也
行政書士・社会保険
労務士。センター
「つどい」でNP
O・市民活動団体の
ための専門家相談
の相談員(無料)。
詳細は5頁。

今までのボランティアの延長線で行うときには会計等の事務処理を行えるかどうか、事業として行うときは、しっかりした事業展開ができるかどうか等様々です。

将来NPO法人等(選択肢の一つでも可)をお考えの方は、ぜひご相談頂ければと思います(現在設立されている方は、運営上のことでもご対応可能です)。

数年、NPO法人の設立・運営の相談員としてご対応させて頂いておりまして、よくある内容は法人化(NPO法人)して良いかどうかということですが、

メリット・デメリットの話でもあるのですが、現状に応じて、継続して運営して頂くことを着眼点にご説明し、その上で決させて頂くようにしております。

第76回「NPO法人の設立の時期」

つぶさきくらむ

大依 和也